

道徳科学習指導案

単元名：公園のきまりを作ろう

授業日時 2019年9月17日（火）第4校時

授業学級 5年東組

授業会場 5年東組教室

授業者

（全1時間扱い中 第1時）

指導者

（1）ねらい

児童は、実際に自分で公園のきまりを作る場面で、公園のきまりを作る上で大切なことに気付くことを通して、きまりを守ることの大切さを感じることができる。

（2）授業のポイント

- ・公園のきまりを作る活動や、きまりを作る時に大切なことを考える活動を通して、きまりを守る大切さに気づくことができるようにする。【授業者の手立て】

（3）展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◎児童の反応・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 公園の絵を見てどんな状態にあるか考える。 2. きまりを作る上で大切なことが何か考える。	★教科書のコピー、スクリーン ◎花壇に入っている人がいる。 ◎ポイ捨てをしている人がいる。 ◎芝生の中が危ない。 ◎分別ができてない。 ○「この公園はなぜこんな状態なんだろう。」 （意図）子どもが、公園にきまりがないことに気付くことができる。 ◎きまりがない。 ◇なぜきまりが大切なのかまで考えられるようにする。 ○「みんなが守りたくなるきまりってどんなものだろう。」 （意図）子どもは、どんなきまりを守りたくなるか考えることができる。	12
【学習問題】 みんなが守りたくなるような公園のきまりを作ろう。			

展開	3. きまりを作る。	○「絵を見て、自分がこの公園に必要なだと思うきまりを作ってみよう。」 (意図) 人が守りたくなるようなきまりを考えることができる。 ★ワークシート	7
	4. 作ったきまりを発表する。	○「自分の作ったきまりを教えてください。」 ◇タブレット、スクリーンを使って投影する。 ★タブレット、スクリーン ◎「花を大切に」否定の言葉を使わないようにした。 ◎「ゴミはゴミ箱へ！」インパクトのある文言にした。 ◇自分がきまりを作った時に気を付けたこと、大切にしていたことを一緒に発表するように指示する。 ◇身の回りにあるきまりを例示する。	10
	5. きまりを作ることにいて大切な点を考える。	○「きまりを作る上で大切なことってなんだろう。」 (意図) きまりを作る大切さに気付くことで、きまりに意識を向け、きまりを守ろうとすることができる。 ◎みんなに公平なものであること。 ◎強制しないこと。	13
【評価 (対象)】大切なことを意識しながらきまりを作ることができる。 きまりの守ることの大切さに気づくことができる (ワークシート)			
終末	6. 振り返り記入	○「今日の授業で感じたことや、考えたことをワークシートに記入しよう。」 (意図) きまりを作ることを通して、日常にあるきまりを守ろうとする意識を高める。 ◎きまりを守ってもらうためにこんなに考えると思っていたいなかったな。 ◎○○さんのきまりは守りたくなるような表現だな。 ◎きまりはやっぱり守るために作られているんだな。 ◎きまりがないとみんなが気持ちよく過ごせないな。 ◇書き終わったら数人発表する。 ★ワークシートに記入後、回収	3